

令和5年度 第1回合志市立図書館協議会		
開催日時	2023年6月16日(金)午後2時～	
開催場所	西合志図書館 集会室	
	出席委員	緒方 幸代、小山 祐一郎、米本 千紗子、正泉寺 秀人、筑紫 紀子 上村 りえ子
	欠席委員	有内 弘、淵上 佳宏、榮 ゆかり、出口 美子
	職務出席者 及び説明者	生涯学習課 課長補佐 合志 新一 主査 中田 玖美 合志市立図書館 館長 高本 孝一 統括責任者 岩下 早希 副統括責任者 鶴岡 亜希子 副統括責任者 末永 静 こうし未来研究所 社長 濱田 善也 事務局長 坂本 政誠
開催形態	公開	傍聴者 なし
議題	<p>次第</p> <p>1.開会</p> <p>2.館長挨拶</p> <p>3.議題</p> <p>(1)委嘱状の交付(新任委員への委嘱状交付)</p> <p>(2)令和5年度図書館要覧説明</p> <p>(3)図書館事業の進捗について</p> <p>ア.図書館事業経過報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読と語りのフェスティバル in 合志 … 4月15日(土)</li> <li>・天文台指導員養成講座 … 6月3日(土)～10月7日(土)</li> <li>・英語のおはなし会</li> </ul> <p>イ.市生涯学習課から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システム更新</li> <li>・空調設備の改修 … 泉ヶ丘市民センター図書館、西合志図書館</li> </ul> <p>(4)今後の図書館事業予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月23日(日)野生の希少植物の魅力と生活の豊かさ</li> <li>・8月12日(土)ペルセウス流星群特別観望会</li> <li>・10月21日(土)、22日(日)図書館まつり</li> </ul> <p>4.その他</p> <p>5.閉会</p>	

議事の概要及び議題または案件に対する意見等の記録

<p>濱田社長</p>	<p>1.開会 指定管理を受けて 4 年目に入ります。コロナ禍の 3 年で生活パターンが変わってしまい、元の生活に完全に戻るにはなかなか難しいと思います。今後また新しい生活パターンに合わせた図書館にしていく必要があるのではないかと考えております。指定管理も折り返し地点を過ぎましたので、市民のみなさまに認めてもらえるような図書館を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>高本館長</p>	<p>2.館長挨拶 コロナの規制が解除され、マスク着用が自己判断になりました。図書館でも、マスクなしの利用者が徐々に増えております。図書館では、いかに市民サービスを充実させていくかを本部(こうし未来研究所)と話し合いながら進めております。今年度は主任が2名から3名に増え、本部の方から、毎年常勤、非常勤の職員を一人ずつ増員していただいております。今後もより一層サービスの充実を図っていかねばならないと思っております。</p>
<p>高本館長</p>	<p>3.議題 (1)委嘱状の交付(新任委員への委嘱状交付) (2)令和5年度図書館要覧説明 ・図書館要覧に沿って説明。 令和4年度の図書館事業の報告: 図書館まつりは久しぶりに開催できました。これまでは選挙やコロナの流行により開催できませんでしたが、10月22日(土)・23日(日)に行い、1,177名の参加がありました。そのほか、図書館見学にも合志市内の小学校2年生985名が来ています。天文台についても、多い日は70名を超える方が来られました。12月25日のクリスマスは寒い日にもかかわらず、多くの方に来ていただき、喜んでいただけました。このように、図書館や天文台を利用して事業を行っております。本年度も、10月に御代志市民センターの講堂なども使ってイベントを計画しております。  本年度の方向性を職員と話し合ったところ、一番には多文化サービスを念頭に置かなければならないとなりました。菊陽町に大きなIC工場ができ、第2工場もできるとのことですので、たくさんの外国人が移住してこられます。図書館にも、ベトナム、台湾、中国、フィリピンの方など、外国人の利用者が増えてきております。それに伴い、多文化サービスを充実させていかねばいけなく同時に、目や耳の不自由な方にも気持ちよく利用していただけるようにしていかなければならないと思っております。今後もみなさまに喜んでいただけるようなイベントをたくさん計画していきたいと思っております。</p>
<p>上村委員</p>	<p>拠点配本について、保育園の拠点配本は、中部保育園だけですか。</p>
<p>高本館長</p>	<p>拠点配本は、中部保育園だけです。ほかの保育園は、移動図書館車のどんちゃん号で</p>

	<p>回ります。</p>
筑紫委員	<p>ブックスタートについて、熊本市がブックスタートをやめたのはご存知でしょうか。ブックスタート協会の中に熊本市の名前がなかったので確かだと思うのですが。</p> <p>熊本県内でブックスタートを行っているのが 29 自治体、本だけをあげているのが 7 自治体で、合計 36 自治体が実施しています。ブックスタートというものの原点に立ち戻って考えると、なぜ熊本市がそういう決断をしたのか、理由を知りたいです。とても意義あるものですし、家庭での重要な時期で出発点になるものですから、やはり公費を使って本を差し上げて、家庭での読書の意義などをお伝えしていただきたいです。</p>
高本館長	<p>去年、熊本市と話したところ、熊本市が電子図書を導入し、電子図書の費用がかなりかかって、財源を毎年追加しないと維持できないため、その負担が図書館の運営費を圧迫しているという話を聞きました。</p>
筑紫委員	<p>本市で実施している小学生向けの図書館見学は、とても意義があると思います。これは、子どもたちが歩いて来られる学校だけなのか、それとも市内全域の学校で図書館見学を実施しているのでしょうか。</p>
高本館長	<p>全ての小学校で実施しています。合志南小学校と南ヶ丘小学校は、泉ヶ丘市民センター図書館に来ます。合志小学校はスクールバスがありますので、ヴィーブル図書館に来ます。西合志東小学校と西合志南小学校は、電車で来ます。楓の森小学校は、歩いて西合志図書館に来ます。西合志図書館の見学では、天文台や閉架書庫を初めて入ることができて喜んでいました。</p> <p>学校によって、ひとりずつ本を借りて帰るところもあれば、見学だけのところもあります。</p>
緒方会長	<p>多文化サービスとは、具体的にどんなことを行っていますか。</p>
高本館長	<p>英語のおはなし会を行いました。標記なども、現在は日本語と英語がありますが、今後は中国語やベトナム語なども交えていく必要があると思います。図書館のしおりも、日本語と英語がありますが、中国語版も作る予定です。外国語の絵本も更新しています。</p>
緒方会長	<p>今は言語翻訳アプリ等もありますので、そういうものを活用していくと良いと思います。</p>
正泉寺委員	<p>数年前に、熊本市の図書館に、英語の本はどんな方が利用されているか伺った際には、お母様が子どもを連れて読んでいる方が多いようでした。</p>
筑紫委員	<p>学校司書の先生や国語の先生に伺ったところ、学校の図書室の資料費がとても足りないそうです。国語の教科書に載っている著者の他の本を揃えて、並行読書をして読む</p>

	<p>習慣をつける等して、子どもたちに読書の喜びを知ってもらえるとうれしいです。家庭での読書を増やす環境をつくと、読解力がつくのはもちろん、心を育てることもつながり、1冊読むだけでも本の存在が大きいと思います。合志市は学校配本が充実しているため県内でも恵まれているほうですが、学校の図書室には本が足りないです。常設コーナーがあると良いと思います。</p>
高本館長	<p>合志市の学校図書館には図書館司書がいますので、図書館にどういった本が必要なのか連絡があると、準備して配本しています。図書館では支援していますので、どんどん使ってほしいです。</p>
筑紫委員	<p>学校に行くと、休み時間などで、図書館からの配本の本を生徒たちが利用していますので、助かっていると思います。</p>
米本委員	<p>不明本の回収とありますが、この不明本とは、意図的に返さないということですか。どういった場合に警察官に入ってもらったのでしょうか。</p>
高本館長	<p>手続きせずに図書館の本を持ち帰って、そのまま返されない状態です。新刊の本を並べても、いつの間になくなっていく状態でした。警察に相談し、ある人が本をバックの中に入れて、そのまま自分の車に持って行かれたのを防犯カメラで確認したので、声をかけて自宅まで行き確認したところ、不明本が山積みになっている状態でした。</p>
鶴岡副統括責任者	<p>(3) 図書館事業の進捗について  ア. 図書館事業経過報告  ・4月15日(土)、朗読と語りのフェスティバルが御代志市民センターの講堂で行われました。260名の方に来ていただき、出演者の方々にも「またぜひ開催してください」と言われ、とても好評でした。  ・6月3日(土)から合計6回の天文台指導員講座を行う予定です。現在15名の指導員が2班に分かれて第2・第4土曜日に来ていただいておりますが、人数が減ってきているため、新しい指導員を増やすべく養成講座を行うことになりました。新聞に案内の記事を載せていただいたので、キャンセル待ちがでるぐらいの応募がありました。ひとりでも指導員になっていただくと有難いです。  ・6月10日(土)に前田ヘレンさんに来ていただき、英語のおはなし会を開催しました。50名ほどの参加者に来ていただき好評で、またぜひ開催してくださいとの声を多数いただきました。</p>
緒方会長	<p>朗読と語りのフェスティバルは、よかったとの声を聞きました。</p>
高本館長	<p>合志市の代表が、水上明子先生で、とても素晴らしく、また他の方々もとても上手でよ</p>

緒方会長	<p>かったという声をいただきました。</p> <p>英語のおはなし会は、外国の方は来られたのでしょうか。</p>
末永副統括責任者	<p>日本の方です。小さい子も小学校高学年の子も参加しました。英語と日本を織り交ぜながら、一緒に歌ったり踊ったりしてとても楽しそうでした。</p>
中田主査	<p>イ.市生涯学習課から</p> <p>来年の図書館システム更新に向けて、今年度プロポーザルを予定しています。</p>
高本館長	<p>図書館システムの更新は現在 5 年契約になっており、来年更新の時期ですが、専門家からは現在のままだとセキュリティの問題やこれからの技術に今後対応できなくなることや、電子図書を導入した場合にスムーズにいくのかななどを挙げられました。安心して利用でき、情報漏洩がないようにしていきたいと思います。</p>
合志課長補佐	<p>空調改修については先日業者が決定しました。合わせてLED化も進めていく予定です。</p>
高本館長	<p>今年度が泉ヶ丘市民センター図書館で、来年度が西合志図書館です。</p>
岩下統括責任者	<p>(4) 今後の図書館事業予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月23日に第1回ふれあい講座「野生の希少植物の魅力と生活の豊かさ」というテーマで講演を予定しています。講師が、熊本大学名誉教授の山中守先生です。阿蘇の野生の希少植物の可憐な姿や、情報社会で生きるわたしたちと植物とのかかわりについて、お話していただく予定です。現在阿蘇の植物の写真を図書館内に掲示しており、今後も増やしていく予定です。</li> <li>・7月7日に七夕特別観望会、8月12日にペルセウス座流星群特別観望会を計画しています。今年度も定期観望会と特別観望会を実施していく予定です。</li> <li>・一番大きなイベントとして、図書館まつりを10月21日と22日に予定しております。ここ数年はコロナ禍で規模を縮小していましたが、今年度2日目の22日は、泉ヶ丘市民センター図書館とヴィーブル図書館を臨時休館にして、全職員で盛大に実施できればと考えています。</li> </ul>
高本館長	<p>七夕観望会は6月10日から受付を始めましたが、受付開始前からお問い合わせがあり、1日で計50名の申込を終了しました。本と天文台のある図書館というのは、この強みです。本と天文台を融合して、子供たちの夢を育んでいきたいと思っております。</p>
緒方会長	<p>熊本に天文台はどれだけあるのでしょうか。</p>

高本館長	<p>県民天文台というのが城南にあります。また、八竜天文台というのが八代にあり、産山には産山天文台という小型の天文台があります。西合志図書館みたいに、都心部から30分から1時間以内にあるという場所は、なかなかないです。そのためか、山鹿や八代や阿蘇からも来られます。</p>
緒方会長	<p>全国的にみても、図書館と天文台が一緒の施設にあるというのは、ないかもしれないですね。なぜここに天文台をたてたのでしょうか。</p>
高本館長	<p>もともと西合志町には図書館がなく、それまでは、野々島公民館に小さな図書室がありました。文化の発信地として図書館を作りたいが、ひとを集めるにはどうしたらよいかと考えた時に、文字や文学などから色々学び夢を育むのと、星空を見ながら夢を育むことが同じ場所できないかということで、図書館に天文台を作ったと聞いています。天文台ができて27年になりますが、その時に講習を受けて指導員になった方たちは40名でした。それが今は15名しかいません。指導員がいなくなってしまうと、天文台を閉鎖せざるを得ないです。今のうちに若い指導員を増やそうということで、今回講習を行うことになりました。定期的に行って、是非残したい宝物です。</p>
緒方会長	<p>大学生などの若い方が来ていただけるといいですね。</p>
高本館長	<p>いま高校生が3人ボランティアで来ていますが、今年は受験なので、受験が終わってから来てほしいとは話しています。</p>
高本館長	<p>4.その他</p> <p>前回の協議会で、電子図書については熊本県立図書館を中心に県下ではじめる旨を話しましたが、情勢が変わってきました。その原因として、モデルケースとしていた長野県が、県全体で電子図書をはじめたのですが、業者としては、県内に46自治体があるので、人気の書籍などをたくさん買ってくれるものと思っていたら、1,2冊しか買われなかったため、業者としては大損害となりました。こういう状況がおこるならば、熊本県ではできないとなり、県立図書館を中心とした電子図書の構想は崩れてしまいました。県立図書館は、電子図書はしますが、流行図書の購入はせず、代わりに子どもたちへの学習支援の資料を購入することになりました。合志市民も、申請すれば県立図書館の電子資料を見ることができます。</p> <p>菊池圏内では、菊陽町と合志市がまだ電子図書を導入していないのですが、こういった状況になったことから菊陽町は菊池市・大津町が作っている菊池圏内の電子図書に入ることとなったので、合志市だけが残る状態です。単独で行う場合の初期設定が120万円程かかるところを、菊池圏内ですると60万円から80万円に抑えられるそうです。あとは自治体ごとに使用料を払うことになりませんが、合志市の利用者が使った分だけ払わ</p>

	<p>なければいけないそうです。24 時間借りられるのと、図書館までなかなか来られない人も利用できるということで、将来的には考えていかなければならないと思っておりますが、図書費が倍になります。ほかの自治体の動きを見て、合志市としてどうしたらよいのかご意見を聞きながら、方向性を探っていきたいと思えます。</p>
合志課長補佐	<p>遠方の方に郵送を行ってはいかがでしょうか。</p>
高本館長	<p>以前より郵送での図書貸出しは行っております。</p>
米本委員	<p>菊池市などは、電子図書の予算はどのようにして確保しているのでしょうか。</p>
高本館長	<p>議会に強くお願いをして出していただいたそうです。菊池市の場合は 4 地域が遠く離れているし、巡回バスなども合志市のように頻繁にはないので、電子図書は必要だったと思います。</p>
坂本事務局長	<p>今の時代ですので紙の本以外にも、電子図書というものがだんだんと取り入れられてきたと思います。合志市がそれに手をつけないかというそうではなく、何らかの方法で電子図書を考えていかなければならない時代になったのかなということです。合志市としては電子図書を今後どうしていくのかを、市とも協議しながら進めていくことが必要だと思います。今は結論がなかなか出ませんので、情報が入ったら教えていただきたいと思えます。</p>
濱田社長	<p>電子図書の導入については多額の費用がかかるため、十分検討する余地がある。合志市は縦横 7, 8 キロの中に図書館が 3 館ある他、どんちゃん号も稼働して学校配本等も行っているの、ほかの図書館と比べるとレベル的にも高いと思えます。できる役割を十分踏まえた上での電子図書だと思うので、そこは慎重に考える必要があると思えます。情報交換して、話し合っ決めていけたらと思えます。</p>
高本館長	<p>次回の協議会は 11 月中旬に、第 3 回を 2 月の中旬ぐらいに考えております。情報がありましたら教えていただきたいです。</p>
	<p>5.閉会</p>